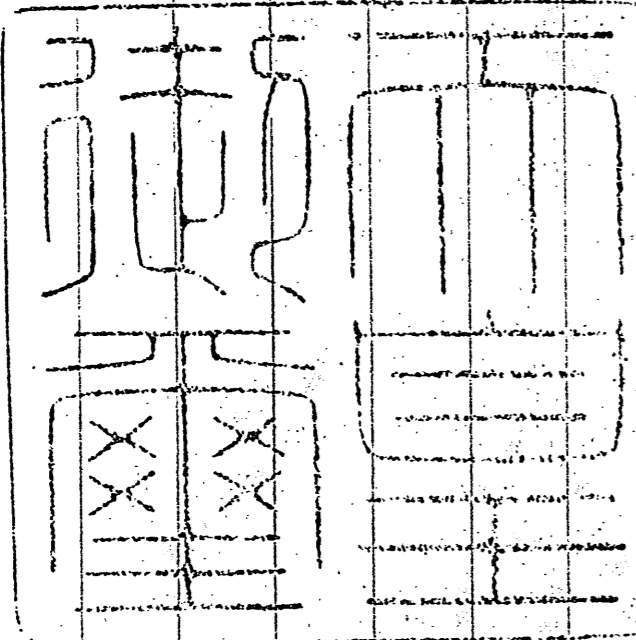


勅令第六百八十六號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ第一復員
官及第二復員官ノ任用等ニ關スル
件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



日

月

昭和二年十一月三十日

内閣總理大臣男爵幣原喜重郎

海軍大臣 米内光政

陸軍大臣 下村 定

勅令第六百八十六號

第一條 第一復員官ハ陸軍教授、陸軍通譯官、陸軍司政長官、陸軍司政官又ハ陸軍政地教授、第二復員官ハ海軍教授、海軍通譯官、海軍司政長官又ハ海軍司政官、第一復員官補ハ陸軍助教、陸軍通譯生又ハ陸軍醫部、第二復員官補ハ海軍助教、海軍通譯又ハ海軍醫部ノ中ヨリ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二條 陸海軍武官内地ノ陸海軍武官ノ職ニ充用セラレハ陸海軍武官ノ職ニ充用中ノ陸海軍ノ准士官、豫備准士官又ハ下士官ヨリ陸軍將校又ハ海軍ノ士官、特務士官若ハ豫備士官ニ任ゼラルル場合ヲ含ム又ハ之ヲ免除セラレタルトキハ別ニ解令ヲ用フルコトナク陸軍將校ハ第一復員官ニ、海軍ノ士官、特務士官及豫備士官ハ第二復員官ニ、

勅令第六百八十六號

陸軍ノ准士官及下士官ハ第一復員官補ニ、海軍ノ准士官、豫備准士官、下士官及豫備下士官ハ第二復員官補ニ任ゼラレ又ハ之ヲ免ゼラレタルモノトス但シ第一復員大臣又ハ第二復員大臣ノ指ニ指定スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 第復員及第復員部内之官對シテ陸海軍之官ニ開スル規定ヲ適用ス
前項ノ規定ノ適用ニ關シ必要ナル事項ハ第一復員大臣又ハ第二復員大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス